



代表取締役社長 **市川 滋乙(重人)**

南星キャリックス株式会社
代表取締役社長を務める市川重
人さん。高校までを愛知県名古屋
市で過ごし、人と変わったこ
とをしたいという思いと小さな
夢を追いかけて、アメリカの大
学に進学。その後、南星キャ
リックスに入社しました。市川
社長が入社するまでの、知られ
ざるエピソードに迫ります。

—— **どんな幼少期や学生時代を
過ごされましたか。**

非常に活発な子どもでした。
小学校で始めたサッカーはだ
いぶ上達し、中学校では1年生の
後半から試合に出させてもら
いました。いつかはブラジルへ行
きたいと思っていましたね。
ちょうどサッカー漫画が流行っ
ていた時期で、それに感化され
たのも理由の一つです(笑)

高校ではキャプテンを務めた
のですが、いかんせん、あまり

いもあり、楽しかった記憶が蘇っ
たんです。運送や物流には以前か
ら興味があり、もちろんゆくゆく
はとは考えていましたので、「そ
れならいつそ今、ここで頑張ろう」
と入社を決めました。

4月の正式入社までは少し時
間がありましたので、少しでも経
験をして慣れておきたくて、当時
瀬戸にあった営業所でトラック
ドライバーとしてアルバイトを
始めました。実はアルバイト期間
中に、一度事故を起こしているん
です。大きな事故ではなかったの
ですが、やはり慣れるまでは怖
かったですね。経験を重ねる重要
さを痛感しました。そうしておよ
そ半年後、正社員として入社した
という経緯です。

当時有り難かったのは、周囲の
従業員の方々が皆、自分を特別扱
いしないでいてくれたことです。
私を気遣って、あえてそういうふ
うに接してくれたのかもしれない
せん。それでも「社長の息子だけ

熱心な部活ではなかったもので
すから、メンバーをまとめるの
に苦労しました。遊びと部活と
で気持ちを切り替えてもらうの
が難しかった記憶があります。
実は、キャプテンになるのは
あまり乗り気ではありませんん
でした。けれども、昔から自然と
そうした役回りになることが多
かったのです。やるからには頑
張らないといけない。少しでも
期待に応えたいと思い、自分な
りに一生懸命役割を全うしよう
と頑張りました。

とはいえ、私も部活以外の時
間では友達と楽しく遊んでいま
したし、学生時代の思い出はた
くさんあります。妻と付き合う
ようになったのも、高校時代で
した。

「ら」という雰囲気は一切なく、ほ
かのスタッフと同じようにコ
ミュニケーションを取ってくれ
ました。入社前は不安もあったの
ですが、それを見事に打ち消し
てくれて、嬉しかったですね。

様々な経験を経て、たどり着
いた南星キャリックス。ここか
ら市川社長の新たな物語が始ま
ります。

(後編に続く)



—— **ありがとうございます。その
後の大学生活はいかがでしたか。**

あまり社内では話していない
のですが、昔、映画に熱中した時
期があります。一人でも映画館に
通い、友達と短編映画を作ったこ
ともありました。

そのうち映画好きが高じて、
「アメリカに留学したい」と思う
ようになります。そんなとき、あ
るアメリカの大学の日本校が東
京にあると知り、高校卒業後に入
学しました。それから本国の大学
に通うために英語の勉強をして、
なんとか1年半後に希望を叶え
ることができたのです。

2年ほどそのアメリカの大学
の本校で学んだのですが、長期休
みは帰国し、実家の仕事(現会社
の仕事)を手伝っていました。ト
ラックの助手席に乗せてもらい
運送の手伝いをするくらいでし
たが、少しでも事業に触れられ
たのは良い経験になったと思いま

す。当時はまだ南星キャリックス
に入社することや、父の後を継ぎ
社長になるなんてことは、あまり
意識していませんでした。ですが
このときの経験が、後に会社への
思いを強くして、入社を後押しし
てくれました。

—— **その後、南星キャリックスに
ご入社するまでの経緯について
教えてください。**

大学を卒業したあと、日本の物
流会社で海外とも取り引きがあ
るような企業を探したのですが、
卒業時期が日本とアメリカとで
は異なっていたため、どの会社も
面接を受けさせてもらえませ
んでした。

どうしようかと父に相談した
ところ、「南星キャリックスに入
ればいいじゃないか」と、そんな
ようなことを言われました。その
とき、長期休みに手伝いをして
たときの、大変だけれどもやりが